

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 48

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				委員報酬	4
		委員費用弁償	4	人	26
		全国市区選挙管理委員会連合会等経費			152
		管理事務費			2,885
		その他（旅費、交際費）			111
	(2) 事業実績	平成22年7月11日に、参議院議員選挙・杉並区長選挙・杉並区議会議員補欠選挙を同日執行しました。この他、大規模投票区である第39投票区の投票区域を見直し、平成23年の統一地方選挙時の混雑緩和を図りました。また、投票者数の多い投票所へ投票記載台を増配備するなどし、投票環境の利便性を向上させました。さらに、投票立会人の負担軽減を図るために、平成22年の参院選より投票立会人交替制を実施しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成16年に創設された期日前投票制度は、年々区民の認知度が高まり、総投票者数に対する期日前投票者の割合も執行する度に高くなっていき、現在は、20%程度の投票者が利用しています。<期日前投票者率>H22参院選 21.1% 在外挙人名簿登録者数は、平成18年の在外選挙制度の改正以降増加していましたが、平成22年度における登録者数は、約1,600名で、前年度より若干減少しました、
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近年、選挙人名簿登録者数の増加に伴い、一部の投票所において、選挙人から投票受付時に長蛇の列ができて待たされる等の声があります。 平成22年7月執行の参議院・区長・区議補選では、長い投票待ち時間に苦情が寄せられました。
	今後の予測	国民投票法の施行などの環境の変化や多様化するニーズに対応に合わせた制度改正などにより、今後も事務量の増加が見込まれます。
	評価と課題	平成23年統一地方選挙に向けて、投票区域の見直しや投票所の混雑緩和策を実施するとともに、今後の選挙に向けた課題・改善策についてのまとめを作成しました。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	独立した行政委員会であるため、統合内部情報システムの活用が出来ず電算化し難い事務もありますが、事務処理の手順等の見直し等を進めて更なる効率化に取り組めます。狭小な投票所の問題など、解決すべき課題に対応していく必要があります。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		選挙に関する常時啓発活動		款	2	項	3	目	2	事業	1	整理番号	49
担当部課名		選挙管理委員会事務局		係名		連絡先電話番号		3804		昨年度整理番号		47	
上位施策No・施策名		73 政治意識の高揚と政治参加の促進		予算事業区分		既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	21	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 公職選挙法第6条・第261条の2 (2) 公職選挙法施行令第133条～137条						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 明るい選挙の推進と政治意識の高揚を図り、投票率の向上を目指します。			活動指標名(式)		(1) 話しあいの会参加延べ人数 (2)						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○常時、選挙人の政治意識の向上に努めるため、明るい選挙推進委員による「話しあいの会」等の啓発事業を行う。 ○毎月、誕生月を迎える新成人に「バースデイカード」を送り、成人をお祝いするとともに、選挙の種類、年代別投票率などの資料と「投票立会人」の募集案内も同封し、若年層に対する選挙啓発を行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 明るい選挙推進委員が開催する話しあいの会の延開催数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) ポスターコンクール応募作品数 算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		
指標	活動指標(1)	①	名	1,713	3,500	2,633	3,500	2,385	3,000	68.1			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	回	78	300	106	300	95	250	31.7			
	成果指標(2)	④	点	257	400	304	400	455	400	113.8			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	2,902	4,167	2,816	2,874	2,578	3,197	22年度予算執行率% 89.7			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ①執行残の理由 「選挙だより」1回分を選挙特集号として他の事業より支出したこと等により、予算執行率が90%を下回りました。 ②活動指標(1) 平成22年度は7月の参議院議員選挙・杉並区長選挙・杉並区議会議員補欠選挙、年度末の統一地方選挙期間により、明るい選挙推進委員による話しあいの会の自粛期間が長く、参加延べ人数及び開催数が前年度より減少しました。			
	(内)委託費	⑦	千円	762	856	726	701	654	730				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.80 0.00	1.50 0.00	3.37 0.00	3.00 0.00	2.05 0.00	3.00 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	16,290	13,319	29,922	26,760	18,286				26,760
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	19,192	17,486	32,738	29,634	20,864	29,957				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	11,204	4,996	12,434	8,467	8,748	9,986				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0				0
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0				0
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	19,192	17,486	32,738	29,634	20,864	29,957				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 49

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		新成人啓発	4,266	人	664
	話しあいの会等推進委員謝礼	179	回	394	
	ポスターコンクール	455	点	320	
	その他（啓発紙の発行、協議会運営ほか）			1,200	
(2) 事業実績	平成22年度は選挙期間中の活動自粛期間があったため、話しあいの会開催数は減少しましたが、有権者意識の向上のための推進委員による話しあい活動は活発に行われました。また、区内小・中学生からの明るい選挙啓発ポスターコンクールへの応募数は、前年度より151点増え455点となりました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	明るい選挙推進活動は、当初は区民の生活と政治及び選挙の関わりや仕組み等、明るい選挙の理解を深め実現していくことでしたが、現在では、政治や選挙に対する意識の高揚を中心とし、特に若年層の投票率の向上に力を入れ活動しています。区議会議員選挙における20歳代投票率 H7 18.16%、H11 20.25%、H15 18.77%、H19 20.46%、H22 35.67% (区議補選)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「啓発資材を活用して、新たな話しあいの会活動をもつことができた」等、啓発資材が活動に役立つとの意見があります。その一方、明るい選挙推進委員のあり方や活動内容について、「あまり理解されていない」「明るい選挙推進委員の活動を広く紹介してほしい」との要望もあります。
	今後の予測	近年の低投票率の背景には、若年層の選挙への無関心さなどが指摘されますが、今後もこの状況は継続すると思われます。
評価と課題		推進委員の活動にばらつきがあるため、話しあい活動実績のない推進委員への助言をしていきます。また、選挙執行の有無に関わらず、あらゆる機関、団体等の協力を得ながら、啓発活動を展開する必要があります。特に、若年層の政治意識の向上を図るため、モデル地区の指定をするなど、効果的な若年層向けの啓発活動を行うことで投票への参加誘導を進めることを検討します。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
選挙や政治に対する意識高揚を図り投票率の向上につなげていくためには、若年層の投票率向上が不可欠です。現在、新成人へのバースデーカードの配布、若年層の投票立会人の活用などを行っていますが、こうした中でもしっかりと政治や選挙に対する意見を持っている若者もいます。投票立会人に限らず啓発事業にも参加できるような仕組みができないか検証しているところです。啓発活動を通して、選挙や政治に対する意識の向上を図りたいと考えるものの、活動から得られるものが形になっていないと、若年層には魅力を感じにくいのかもかもしれません。若年層の意見を聞く機会などを活用したいと考えています。			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		区議会議員・区長選挙		款	2	項	3	目	3	事業	1	整理番号	50
担当部課名		選挙管理委員会事務局		係名		連絡先電話番号		3803		昨年度整理番号		新	
上位施策No・施策名		73 政治意識の高揚と政治参加の促進		予算事業区分		臨時事業		新規事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	22年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		選挙人、候補者、期日前投票所、投票所、開票所		根拠法令等		(1) 公職選挙法 (2) 杉並区選挙執行規程					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		公明・適正な選挙の執行により、選挙人の意思が正しく反映されるようにします。		活動指標名(式)		(1) 投票所数(期日前投票所含む) (2) 選挙人数					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○杉並区長選挙・杉並区議会議員補欠選挙、並びに杉並区議会議員選挙の準備及び執行		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)		杉並区議会議員選挙の投票率		算定式・指標の説明等							
		成果指標名(2)		若年層の投票立会人の割合		算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度	21年度		22年度		23年度	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	所			80	80	80	100.0				
	活動指標(2)	②	人			450,677	448,526	450,677	99.5				
	成果指標(1)	③	%			50	57.6	50.0	115.2				
	成果指標(2)	④	%			20	18	20	90.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円			237,061	101,560	158,089	22年度予算執行率% 42.8				
	(内)投資的経費等	⑥	千円			0	0	0	特記事項 ①執行残の理由 参議院議員選挙と杉並区長選挙が同日執行となったため、執行経費の節減できました。 ②23年度への繰越事業費 23年4月執行の区議会議員選挙経費分として、80,734千円を23年度予算へ繰り越します。 ③事業予算 平成22年度予算は、平成22年7月11日執行の杉並区長選挙経費と、平成23年4月24日執行の杉並区議会議員選挙のため準備経費が含まれます。 ④成果指標(1) 平成22年度の指標は、区長選と同時執行した区議補選の投票率としています。				
	(内)委託費	⑦	千円			64,414	29,607	31,809					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人			7.50	7.50	7.50					
	人件費	⑨	千円	0	0	66,900	66,900	66,900					
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	303,961	168,460	224,989					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円			3,799,513	2,105,750	2,812,363					
	受益者負担分	⑬	千円										
	国からの補助金等	⑭	千円										
	都からの補助金等	⑮	千円										
	その他の補助金等	⑯	千円										
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	0	0	0	303,961	168,460	224,989					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%			0.0	0.0	0.0						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 50

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				投票所経費	66
		開票所経費	1	所	4,222
		期日前投票及び不在者投票	14	所	13,946
		ポスター掲示場経費	523	所	20,918
		その他 (選挙啓発費・選挙公報発行費・立候補関係費・選挙人名簿調製費・選挙執行事務費)			27,832
	(2) 事業実績	平成22年7月11日に杉並区長選挙と杉並区議会議員補欠選挙を執行しました。また、平成23年4月執行予定の杉並区議会議員選挙の準備を行っています。区長・区議補欠選挙では、立候補受付事務から投・開票事務に至るまで公正公平な選挙執行をしました。さらに、半日交替制により投票立会人の負担軽減を図るとともに、開票作業効率化のため、自動読取式分類機を活用するなどし、開票人員の削減や開票時間の短縮を図りました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	法令の改正により、投票時間の延長、期日前投票の実施、不在者投票制度の改善などの選挙制度が変化しています。また、近年は高齢者の選挙人増加に対応し、投票所へのスロープ設置などを行い、年々投票しやすい環境に努めています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	投票所施設のバリアフリー化の推進(出口の段差解消)や投票待ち時間の解消など、投票環境の向上に関する要望があります。
	今後の予測	選挙人の高齢化に伴い、投票環境向上に対する要望が増えることが予測されます。一方、有権者比率が高い若年層に対する、啓発活動を中心に様々な取り組みをしていく必要性が増していきます。
	評価と課題	区民にとって一番身近に選挙権行使の場となる区議・区長選挙を管理執行していくための重要な事業です。選挙管理委員会が平成23年3月にまとめた、今後の選挙に向けた課題・改善を、実際の投・開票において実行していく必要性があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	● 実施方法の変更		
	有権者の年代構成の変化に対応した施策を展開する必要があります。特に、若年層の投票率向上に向けた啓発事業を検討していきます。また、狭小な投票所や有権者数の多い投票区などの課題も、時間をかけて解決する必要があります。					

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		都知事選挙		款	2	項	3	目	3	事業	2	整理番号	51
担当部課名		選挙管理委員会事務局		係名		連絡先電話番号		3803		昨年度整理番号		新	
上位施策No・施策名		73 政治意識の高揚と政治参加の促進		予算事業区分		臨時事業		新規事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	22	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		選挙人、候補者、期日前投票所、投票所、開票所		根拠法令等		(1) 公職選挙法 (2) 東京都及び杉並区選挙執行規程					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		公明・適正な選挙の執行により、選挙人の意思が正しく反映されるようにします。		活動指標名(式)		(1) 投票所数(期日前投票所含む) (2) 選挙人数					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○東京都知事選挙の準備及び執行		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)		都知事選挙の投票率		算定式・指標の説明等							
		成果指標名(2)		若年層の投票立会人の割合		算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度	21年度		22年度		23年度	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	所			80	1	80	1.3				
	活動指標(2)	②	人			456,291	460,139	460,139	100.8				
	成果指標(1)	③	%					55.0					
	成果指標(2)	④	%					20					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円			90,559	29,923	65,996	22年度予算執行率% 33.0				
	(内) 投資的経費等	⑥	千円			294	164	0	特記事項 ①執行残の理由： 都知事選挙と都議会議員補欠選挙が同日のため執行経費の節減が図れました。また、入札による差金が生じています。 ②23年度への繰越事業費 執行残60,636千円のうち、45,033千円は23年度予算へ繰り越します。 ③事業予算について 選挙執行日は平成23年4月10日のため、平成22年度予算は、準備経費のみです。 平成22年と平成23年度を合わせて事業執行経費となります。 ④財源 歳入の都委託金は、都知事選22年度23年度執行全体基礎数値のため22年度歳出予算を超えています。 ⑤成果指標の数値 活動指標1は平成22年度中に開設した期日前投票所(区役所のみ)として、「1」を入力しています。 成果指標は、選挙執行が23年度のため、今年度は未入力としています。				
	(内) 委託費	⑦	千円			52,663	22,076	6,599					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人			3.12	3.12	3.12					
	人件費	⑨	千円	0	0	27,830	27,830	27,830					
	(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	118,389	57,753	93,826					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円			1,476,188	57,589,000	1,172,825					
	受益者負担分	⑬	千円										
	国からの補助金等	⑭	千円										
	都からの補助金等	⑮	千円			90,559	66,255	65,996					
	その他の補助金等	⑯	千円										
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	90,559	66,255	65,996						
差引: 一般財源(⑰-⑱)	⑱	千円	0	0	27,830	▲ 8,502	27,830						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%			0.0	0.0	0.0						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 51

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				投票所経費	66
		開票所経費	1	所	504
		期日前投票及び不在者投票	14	所	2,019
		ポスター掲示場経費	523	所	618
		その他 (選挙啓発費・選挙公報発行費・立候補関係費・選挙人名簿調製費・選挙執行事務費)	21,115		
	(2) 事業実績	東京都知事選挙を執行するための準備のための経費を計上した事業です。平成22年度、平成23年度の予算を通じて、投・開票事務における公正公平な選挙をするために執行していきます。平成22年度は、期日前投票及び当日投票の環境整備や迅速かつ正確な開票事務を執行するための準備を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	法令の改正により、投票時間の延長、期日前投票の実施、不在者投票制度の改善などの選挙制度が変化しています。また、近年は高齢者の選挙人増加に対応し、投票所へのスロープ設置などを行い、年々投票しやすい環境に努めています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	投票所施設のバリアフリー化の推進(出口の段差解消)や投票待ち時間の解消など投票環境の向上に関する要望があります。
	今後の予測	選挙人の高齢化に伴い、投票環境向上に対する要望が増えることが予測されます。一方、有権者比率が高い若年層に対する、啓発活動を中心に様々な取り組みをしていく必要性が増していきます。
	評価と課題	選挙人の意思が正しく反映されように公正公平な執行を継続して実施していきます。選挙管理委員会が平成23年3月にまとめた、今後の選挙に向けた課題・改善を、実際の投・開票において実施していく必要性があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	有権者の年代構成の変化に応じた施策を展開する必要があり、特に、若年層の投票率向上に向けた啓発事業を検討していきます。また、狭小な投票所や有権者数の多い投票区など改題も、時間をかけて解決する必要があります。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		都議会議員選挙		款	2	項	3	目	3	事業	3	整理番号	52		
担当部課名		選挙管理委員会事務局		係名		連絡先電話番号		3803		昨年度整理番号		48			
上位施策No・施策名		73 政治意識の高揚と政治参加の促進		予算事業区分		臨時事業									
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	22年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			選挙人、候補者、期日前投票所、投票所、開票所		根拠法令等		(1) 公職選挙法 (2) 東京都及び杉並区選挙執行規程						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			公明・適正な選挙の執行により、選挙人の意思が正しく反映されるようにします。		活動指標名(式)		(1) 投票所数(期日前投票所含む) (2) 選挙人数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○東京都議会議員選挙の準備及び執行		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		東京都議会議員選挙の投票率		算定式・指標の説明等							
				成果指標名(2)		若年層の投票立会人の割合		算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %					
			実績		計画		実績		計画(目標値)	実績					
指標	活動指標(1)	①	所			80		80		80	80				
	活動指標(2)	②	人			454,810		454,810		456,291	460,139				
	成果指標(1)	③	%			50.0		53.2			50.0				
	成果指標(2)	④	%			20		17			20				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0		184,988		160,001		18,897	4,328		10,603	22年度予算執行率% 22.9	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0		27,720		27,720		868	0		0	特記事項 ①執行残の理由 都知事選挙と都議会議員補欠選挙が同日のため、執行経費の節減が図れました。 執行率は、年度をまたがる契約などを繰越明許しているため、低くなっています。 ②23年度への繰越事業費 執行残14,569千円のうち、12,721千円を23年度予算へ繰り越します。 ③事業予算について 選挙執行日は平成23年4月10日のため、平成22年度予算は、準備経費となっています。 平成22年と平成23年度を合わせて事業執行経費となります。 ④財源 歳入の都委託金は、都知事選22年度23年度執行全体基礎数値に一部含まれますが、22年度の歳入はなく、総額を平成23年度に収入する予定です。 ⑤活動指標、成果指標 活動指標1 22年度中は、告示日前のため期日前投票も含めて開設していません。 成果指標は、選挙執行が23年度のため、今年度は未入力としています。	
	(内)委託費	⑦	千円	0		64,594		46,008		3,769	1,418		4,153		
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00	0.00	5.23	0.00	5.23	0.00	0.50	0.00	0.50	0.50		
	人件費	⑨	千円	0		46,437		46,437		4,460	4,460		4,460		
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0		0		0		0	0		0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0		231,425		206,438		23,357	8,788		15,063		
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円			2,546,313		2,233,975		281,113	188,288				
	受益者負担分	⑬	千円	0		0		0							
	国からの補助金等	⑭	千円	0		0		0							
	都からの補助金等	⑮	千円	0		157,268		173,679		18,897	0		10,603		
	その他の補助金等	⑯	千円	0		0		0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0		157,268		173,679		18,897	0		10,603			
差引:一般財源(⑰-⑱)	⑱	千円	0		74,157		32,759		4,460	8,788		4,460			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%			0.0		0.0		0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 52

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		投票所経費	66	所	1,643
		開票所経費	1	所	66
		期日前投票及び不在者投票	14	所	1
		ポスター掲示場経費	523	所	0
		その他 (選挙啓発費・選挙公報発行費・立候補関係費・選挙人名簿調製費・選挙執行事務費)			2,618
	(2) 事業実績	都議会議員の欠員に伴い、都知事選挙の執行により同日に都議会議員補欠選挙執行するための準備のための経費を計上した事業であり、平成22年度、平成23年度の予算を通じて、投・開票事務における公正公平な選挙するために執行する。期日前投票及び当日投票の環境整備や迅速かつ正確な開票事務を執行するために準備する。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	法令の改正により、投票時間の延長、期日前投票の実施、不在者投票制度の改善などの選挙制度が変化している。また、近年は高齢者の選挙人増加に対応し、投票所へのスロープ設置などを行い、年々投票しやすい環境に努めています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	投票所施設のバリアフリー化の推進(出口の段差解消)や投票待ち時間の解消など投票環境の向上に関する要望があります。
	今後の予測	選挙人の高齢化に伴い、投票環境向上に対する要望が増えることが予測されます。一方、有権者比率が高い若年層に対する、啓発活動を中心に様々な取り組みをしていく必要性が増してきます。
	評価と課題	選挙人の意思が正しく反映されようとして公正公平な執行を継続して実施していきます。選挙管理委員会が平成23年3月にまとめた、今後の選挙に向けた課題・改善を、実際の投・開票において実施していく必要性があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
有権者の年代構成の変化に応じた施策を展開する必要があり、特に、若年層の投票率向上に向けた啓発事業を検討していきます。また、狭小な投票所や有権者数の多い投票区など改題も、時間をかけて解決する必要があります。			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		参議院議員選挙		款	2	項	3	目	4	事業	5	整理番号	53
担当部課名		選挙管理委員会事務局		係名		連絡先電話番号		3803		昨年度整理番号		新	
上位施策No・施策名		73 政治意識の高揚と政治参加の促進		予算事業区分		臨時事業		新規事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	22	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		選挙人、候補者、期日前投票所、投票所、開票所		根拠法令等		(1) 公職選挙法 (2) 杉並区選挙執行規程					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) 投票所数(期日前投票所含む) (2) 選挙人数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
		○参議院議員選挙の準備及び執行		成果指標名(1)		参議院議員選挙の投票率							
				算定式・指標の説明等									
				成果指標名(2)		若年層の投票立会人の割合							
				算定式・指標の説明等									
区分		単位	20年度	21年度		22年度		23年度	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	所			80	80		100.0				
	活動指標(2)	②	人			459,609	462,234		100.6				
	成果指標(1)	③	%			60	58.0		96.6				
	成果指標(2)	④	%			20	18		90.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円			122,901	107,404		22年度予算執行率% 87.4				
	(内)投資的経費等	⑥	千円			1,944	1,555		特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円			46,806	36,240						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人			4.28	4.28		①執行残の理由: 入札による契約価格の差で執行残が生じました。 また、区長選と参議院議員選挙が同日に執行したことに伴い、経費が節減できたため、執行残が生じました。 23年度においては、本事業の実施はありません。				
	人件費	⑨	千円	0	0	38,178	38,178	0					
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	161,079	145,582	0					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円			1,989,188	1,800,338						
	財源	⑬	千円										
	国からの補助金等	⑭	千円										
都からの補助金等	⑮	千円			122,901	119,970							
その他の補助金等	⑯	千円											
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	122,901	119,970	0						
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	0	0	38,178	25,612	0						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%			0.0	0.0							

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 53

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				投票所経費	66
		開票所経費	1	所	14,052
		期日前投票及び不在者投票	14	所	18,327
		ポスター掲示場経費	523	所	22,684
		その他 (選挙啓発費・選挙公報発行費・立候補関係費・選挙人名簿調製費・選挙執行事務費)			19,984
	(2) 事業実績	7月11日参議院議員選挙の任期満了に伴う選挙執行するための事業で、投・開票事務において、公正公平な選挙執行をしました。選挙執行にあたっては、期日前投票及び当日投票の環境整備や迅速かつ正確な開票事務を執行しました。また、前回の選挙に引き続き、開票作業効率化のため、自動読取式分類機の導入や立会人への開示方法の改善などを行い、開票人員の削減や開票時間の短縮を図りました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	法令の改正により、投票時間の延長、期日前投票の実施、不在者投票制度の改善などの選挙制度が変化している。また、近年は高齢者の選挙人増加に対応し、投票所へのスロープ設置などを行い、年々投票しやすい環境を努めています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	投票所施設のバリアフリー化の推進(出口の段差解消)や投票待ち時間の解消など投票環境の向上に関する要望があります。
	今後の予測	選挙人の高齢化に伴い、投票環境向上に対する要望が増えることが予測されます。一方、有権者比率が高い若年層に対する、啓発活動を中心に様々な取り組みをしていく必要性が増してきます。
	評価と課題	選挙人の意思が正しく反映されように公正公平な執行を継続して実施していきます。選挙管理委員会が平成23年3月にまとめた、今後の選挙に向けた課題・改善を、実際の投・開票において実施していく必要性があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	有権者の年代構成の変化に応じた施策を展開する必要があり、特に、若年層の投票率向上に向けた啓発事業を検討していきます。また、狭小な投票所や有権者数の多い投票区など改題も、時間をかけて解決する必要があります。		

特記事項	
------	--